



陣内俊 Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESIGN WORKS /2008/All Rights Reserved

2018年1月 - 3月号

Vol.41

2018年の抱負

支援者の皆様、いつも暖かいお祈りとご支援を心より感謝します。

昨年のプレイヤーレターのなかで私は「大切なことは向こうから来る」という神からの語りかけをご紹介しました。自分の体力への過信から焦って何かをしようとするのではなく、「向こうからやって来た事だけを、神からのお誘いだと受け止めて引き受けていく」という態度を肝に銘じてきました。

仕事に復帰してまる2年が経った今、少しずつですが確実に、内的エネルギーが高まってきているのを感じています。神の恵みと皆様のお祈りのおかげだと感謝しております。「今年の抱負」というような

形で、未来を見据えて目標や幻を見られるようになってきたこともそのひとつの表れだと思います。無理や慢心は禁物ですが、働きを共に担う同労者である支援者の皆様に祈っていただき、神の国の働きに携わっていきたくと思わされています。

2018年のはじめに私はこの年に注力すべきことについて、神に聞く時間を持ちました。そこで示された事は大きく5つのカテゴリに分けられます。「個人的な抱負」ではありますが、祈りに覚えていただければ幸いと思い、ここに書かせていただきます。また、皆様や教会や会社などにとって必要な内容を含んでいましたら、共働のお声がけをお待ちしています。



1 宣教の包括性

この10年間、私が神に導かれてきた働きを貫くのは「包括的な宣教」という概念です。包括的な宣教とは、「福音と宣教の働きは人間の魂に関するだけでなく、全人的であり、被造物のすべてにも及ぶ」という宣教観です。14年前に「聞き屋ボランティア」を通してメンターのボブ・モフィット氏に出会い、彼の著書である「If Jesus were Mayor (もしイエス様が市長だったら)」に書かれているこのメッセージに出会ったとき「これに自分の人生を賭ける価値がある」と強く思われました。「もしイエス様が市長だったら」の粗訳は2009年に終わっていましたが、言葉を洗練させ、磨き上げるのにさらに8

年がかかりました。今年は完成が見えてきているこの翻訳を仕上げ、日本語の書籍として読んでいただける形にすることが一つの目標です。

この10年間で海外のパートナーや震災支援に携わるプロセスで、「被造物ケア」という視点が加わり、また教会の拡大や発展も重要だが「キリストに倣う者と変えられる」というさらに大切な焦点について新たな確信を与えられ、私の中で「包括性の概念」はアップデートされてきました。

「宣教・福音の包括性」は私のライフワークであり、召しの中心にあります。今年一年間を通じて、導かれる様々な場所でこのメッセージを伝え、人々が内面化するお手伝いをさせていただきたいと思われています。

2 様々な形でのアウトプットと、「人を育てる」という働き

私のもうひとつの「神からの召し」は、「預言的な働き」であり、この時代に必要なメッセージを様々な形で発信することだと思っています。今の時代の「発信」には様々な回路がありますから、なるべく多様なチャンネルで発信を続けたいと思っています。病氣療養前からのアウトプットも含め、現在のところ以下のような媒体があります。

1. ブログ「陣内俊 Prayer Letter ONLINE」(2008年から)
2. ブログ「陣内俊の読むラジオアーカイブス」(2017年から)
3. ブログ「名もなき信仰者の霊想録」(2018年から)
4. 無料メルマガ「陣内俊の読むラジオ」(2017年から)
5. 各種メッセージの動画「YouTubeのFVIチャンネルVoice of the Voiceless」(2016年から)
6. PDFでの「陣内俊 Prayer Letter」、If Jesus were Mayor 和訳、その他論考など
7. その他 SNS での発信

上記のすべてのリソースは Google 検索バーにそのまま入力していただければどなたでもアクセス可能ですが、近日中にこれらをまとめるひとつのホームページを立ち上げる予定です。

また、11月に予定されている「よにでしセミナー第二期 in 札幌」をはじめ、現代のポストモダン社会においてキリストの弟子として生きるということはどういうことなのかを追求し、先の見えない現代社会を生きる人々の伴走者として力になりたいと願われています。

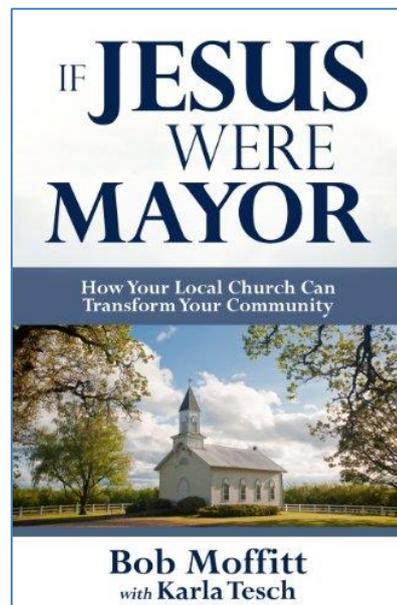
3 リフレッシュと健康維持

今年も様々な予定が既に入ってきていますし、「向こうから来る」新たな出会いや働きにも期待しています。とはいえ、燃え尽きと鬱病の療養を経て「休むことの大切さ」が心の深い部分に刻み込まれました。年内に1回か2回、意図的にしっかりと休み、リフレッシュする時間を今から確保しています。

また、「友人との交わり」の維持と深化も健康と同じで、私の年齢になると意識しなければゆっくりと失われていくものです。最近読んだ書籍に、「死ぬ間際の人が後悔すること5つ」が紹介されていました。その第四位は「友だちとつきあい続ければ良かった」だそうです。死ぬ前に後悔しないために、今ある友情を大切に育てていきたいと願っています。

4 海外とのつながりの再構築

2011年の東日本大震災、そして2013年の燃え尽きと鬱という人生の季節を経て、それ以前に築いていた海外のパートナーとの関係は年に数度のメールでのやりとりのみになっていました。私は彼らが私



のために熱く祈ってくれていたのを知っていますし、また私も彼らのために祈り続けてきました。インドに私が行ったのは10年前ですが、10年の時を経て、今年の後半か来年の前半に、再びインドのパートナーを訪れる促しを覚えています。神の御心ならば道が開かれますようお祈りください。

家族の近況：長女の成長と、授乳トラブル



長女の「かなえ」は、3月21日で生後半年を迎えます。大きな病気などもなく成長する長女の姿を見られることは当たり前ではなく、大きな神の恵みが背後にあることを日々感じています。「かなえ」という名前には「恵みを奏でる（奏恵）」「笑いを奏でる（奏笑）」という二つの願いと意味を込めたことを去年のレターでお伝えしましたが、その名前の通りに彼女はたくさん笑い、私たちに神の恵みを深く覚えさせてくれています。

妻の純子の体調のために祈りいただければ幸いです。出産直後から母乳の詰まりと乳腺炎の痛みに苦しめられました。定期的にケアが必要なために今年2月までは毎週2~3回の通院が必要で、赤ちゃんを連れて病院に通うのは様々な意味で負担となっていました。

教会の皆様にもお祈りいただき現在はかなり改善していますが、乳腺の状態が安定し、母子ともにストレスなく過ごせるよう、どうぞお祈りいただけますと幸いです。

メッセージ「超要約」

「聖書から見るお金と信仰」 主題箇所：マタイによる福音書6章21節

2018年1月21日、練馬グレースチャペル主日礼拝にて

昨年上梓された「聖書から見るお金と教会、社会」という本を、著者で立川福音自由教会牧師、FVI役員でもある高橋秀典先生から贈呈いただき拝読しました。同書の前書きにはこうあります。「キリスト教会は（中略）、明確なヴィジョンのもとに、お金を賢く管理することが求められています。イエスは二千年前のグローバル市場経済の中で、お金について驚くほど頻繁に語られました。そして、そのメッセージは、現代のグローバル経済にそのまま適用できる、古くて新しい知恵なのです。（P7）」

リック・ウォレン牧師は、「イエス様は天国や地獄について語るよりも頻繁に、お金について語られた。それは私たちが天国よりもお金についてより多くの時間考えているからだ。お金をどのように使うかというのは、霊的な訓練である」と語っています。

福音書に登場する「2レプタを献げたやもめ」が私たちに教えているのは、与えるというのは金額の問題でもなければ費用対効果の問題でもないし、ましてや神様が何か不足しているかのように私たちの財産に依存しているのでもない、ということです。そこから私たちが学べるのは、「神は私たちにご自分のひとり子であるイエスに似て欲しい」という愛なる神の御心です。神のひとり子なるキリストの生涯は『与える』という言葉に集約されます。もし私たちが2レプタのやもめのように「喜んで与える者」となるなら、私たちはイエスに似た者となり、神が栄光をお受けになります。

神に一時的に委ねられたお金を賢く使う者でありたいと思わされます。

祈りの課題

- ◇家族（俊・純子・かなえ）体調が守られて働きを全うできるように。
- ◇「陣内俊を支える会」の支援者・協力者が加えられるように。事務局の愛知から東京への移行がスムーズに進み、働きが安定して支えられるように。
- ◇遣わされる様々な場所で、神の国のメッセージを伝え、人々を励ますという使命を全うできるように。

2018年の予定

月 日	内 容	場所、補足
3月後半	教会訪問と各地での奉仕	関西・西日本方面
4月15日	礼拝説教	練馬グレースチャペル
6月24日	礼拝メッセージと包括的宣教訓練会	初石聖書教会
6月25～28日／9月中旬	FVI執行役員会（Captain's Table）	万座温泉ホテル（群馬）
7月29日	礼拝奉仕	久遠キリスト教会（杉並区）
9月25～28日	DNA Asia Gathering	チェンマイ（タイ）
10月29日	FVI総会	本郷台キリスト教会
11月23～24日	よにでしセミナー第二期 in 札幌	芸森スタジオ（札幌市）
未定（今年後半～来年前半）	海外パートナーの訪問（調整中）	インド
随時継続的に	FVIの各種活動	国内各地

* 上記は現在までで分かっている暫定的な範囲の予定です。

連絡先

〒443-0013 愛知県蒲郡市大塚町伊賀久保 100-2 国際クリスチャンバプテスト教会内 「陣内俊を支える会」
陣内への Email shun@karashi.net ブログ URL : <http://ameblo.jp/shunjinnai-kingdomcome/>

支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援をもってご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。ご支援を心より感謝いたします。

- ゆうちょ銀行口座番号 12110-91889141 名義：「陣内俊を支える会」
- 他行からの振込 店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）（089）預金種目：当座
口座番号：0142825 「陣内俊を支える会」
- 郵貯振替口座番号 00830-1-142825 名義：「陣内俊を支える会」
（同封の振込用紙がご利用いただけます。）

- * 振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方はお知らせください。
- * 振込用紙（赤色・手数料当方負担）を同封いたしますが、振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。お振込くださるときにご利用ください。（毎月ご利用の方のために複数枚同封しています。）
- * Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。